くわしくする ことば「どんな」

チェック

なまえ　　　　がつ　　にち

(1) 文(ぶん)しょうを よんで、もんだいに こたえましょう。

(1)

カラスと とんびは、なんでも たべる とりです。

● カラスと とんびは どんな とりですか。

（　　　　　　）とり

(2)

バスは、いちどに おおくの 人(ひと)を きまった ところに はこぶ じどう車(しゃ)です。

● バスは、どんな じどう車ですか。

いちどに おおくの 人を（　　　　）に
（　　　　）じどう車。

(3)

すあなから 出(で)て きた アリは、よわって いる バッタを 見(み)つけました。すると、その アリは、大(おお)いそぎで すあなに もどりました。なかまを よぶ ために もどったのです。

① アリは、どんな バッタを 見つけましたか。

（　　　　　　）バッタ

② バッタを 見つけた アリは、どんな ようすで もどりましたか。

（　　　　　　）で もどりました。

③ なにを する ために もどったのですか。

（　　　　　　）ために もどったのです。

くわしくする ことば「どんな」 ワーク

なまえ

がつ　にち

㋑の 文のように、「どんな」や 「なにを」を つけたすと、くわしい 文に なります。

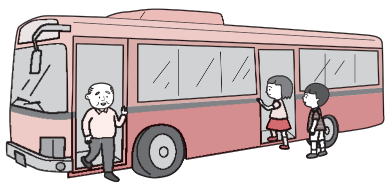
㋐ わたしは ―― たべる。

㋑ わたしは ―― （どんな）おいしい ―― （なにを）おにぎりを ―― たべる。

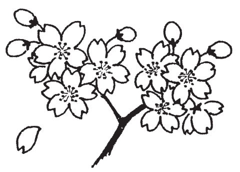
つぎの □に あう ことばを、□から えらんで かきましょう。

① わたしは （どんな）□ （なにに）□ すわった。

② バスは （どんな）□ （なにを）□ のせる。



③ （なんの）□ 花が （どんなふうに）□ さいて いる。



サクラの	大ぜいの	石に
大きな	きれいに	人を

くわしくする ことば「どんな」

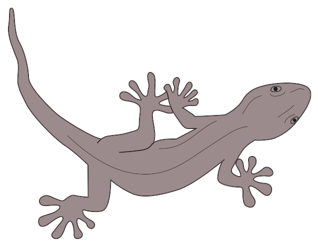
おさらい

なまえ

がつ　にち

1 『ヤモリ』を よんで、もんだいに こたえましょう。

いえを まもる 生きものと いわれて いる ヤモリ。いえの かべや まどに ピタッと はりついて います。足の ゆびの うらは、ギザギザした うろこのように なって います。



(1) ヤモリは、どんな 生きものと いわれて いますか。

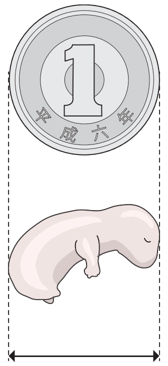
（　　　　）生きもの

(2) 足の ゆびの うらは、どのように なって いますか。

（　　　　）した うろこのように なって います。

2 『コアラの 赤ちゃん』を よんで、もんだいに こたえましょう。

生まれて すぐの コアラの 赤ちゃんは、大きさも おもさも 一円玉ぐらいしか ありません。いろは ピンクいろで、まだ けも あまり 生えて いません。目や 耳は はっきりして いませんが、口と まえ足だけは、しっかりして います。赤ちゃんでも、まえ足には とがった つめが あります。



▲コアラの赤ちゃん

(1) 生まれて すぐの コアラの 赤ちゃんは、どんな ようすですか。

① 大きさと おもさ（　　　　）ぐらい

② いろ（　　　　）いろ

(2) まえ足には、なにが ありますか。

（　　　　）

どうぶつの はの かたち

なまえ

がつ　にち

文しょうを よんで、もんだいに こたえましょう。

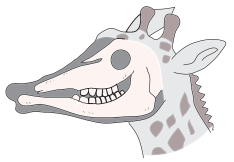
どうぶつの はは、小さい はに、するどい はなど、さまざまです。なぜ、どうぶつによって はの かたちが ちがうのでしょうか。

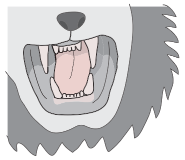
ライオンの 口には 大きい きばと するどい おくばが あります。きばを えものに くいこませて、するどい おくばで かみきります。

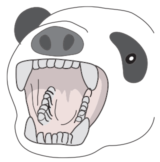
キリンは、ひらたい おくばで 口を 左右に うごかして、草などを、すりつぶして たべます。

パンダは、クマの なかまで、むかしは にくを たべて いました。だから、まえばは するどく なって います。いまは、かたい 竹を おくばで すりつぶして たべます。だから、おくばは ひらたくて じょうぶです。

このように、どうぶつの はは、たべものに よって ちがって いるのです。


▲キリン


▲ライオン


▲パンダ

(1) つぎの はを もって いる どうぶつを かきましょう。

① するどい まえばと ひらたくて じょうぶな おくば　（　　　）

② ひらたい おくば　（　　　）

③ 大きい きばと するどい おくば　（　　　）

(2) 上の 文しょうから、たずねて いる 文を さがして、〰〰を ひきましょう。

(3) (2)の こたえを かきましょう。

どうぶつの はの かたちは、［　　　　］によって ちがう。